

ぼうえい

東海防衛だより

2024
令和6年

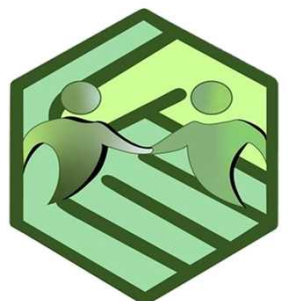
夏



小牧基地オープンベースでのK/C-130H輸送機との綱引き対決
(写真提供：小牧基地)

目次(主な内容)

- 1 自衛隊の記念行事・東海防衛支局の政策広報
- 3 防衛力の抜本的強化を支える東海3県の防衛生産・技術基盤
- 7 特定防衛施設周辺整備調整交付金事業
- 9 陸上自衛隊第10偵察戦闘大隊の新編等
- 10 「愛三岐のまちから」三重県津市



自衛隊の記念行事 東海防衛支局の政策広報

我が国の安全保障を支えるためには、社会的基盤の強化が必要であり、防衛施設が所在する地方公共団体や地域住民の方々のご理解とご協力を得ることが重要です。

東海3県に所在する各自衛隊施設では、自衛隊に対する理解を深めていただくため、航空祭や記念行事などを開催し、施設を一般の方々に開放し、地域の皆様と交流を図っています。

小牧基地オープンベース (航空自衛隊)

本年3月3日(日)に、航空自衛隊「小牧基地オープンベース」(愛知県小牧市)が開催されました。

天候にも恵まれ、2万人を超える来場者となり、第1輸送航空隊所属のK/C-130H輸送機及びKC-767空中給油・輸送機の編隊飛行によるオープニングフライト(写真下段)から始まりました。

K/C-130H輸送機(写真上段)などの航空機の展示を多くの方がご覧になり、また、来場者参加型としてK/C-130H輸送機との綱引き対決(写真表紙)や基地太鼓部による和太鼓の演奏などが行われました。特に大型機による編隊飛行においては、普段見ることのできない光景に会場から大きな歓声が沸き起こりました。



【航空機展示】



【和太鼓演奏】

(写真提供：小牧基地)



【オープニングフライト】

久居駐屯地開設72周年記念行事（陸上自衛隊）

本年4月7日（日）に、陸上自衛隊「久居駐屯地開設72周年記念行事」（三重県津市）が開催されました。

晴れわたる青空の中、式典会場では、観閲行進や155mm榴弾砲FH70による空砲射撃（写真下）などの訓練展示が行われ、各隊員の頼もしく凛々しい姿が披露されました。子供達もエア遊具で伸び伸び遊んでいました。約4000人の来場者は普段目にしない訓練展示などを興味深く見学していました。



【観閲行進の様子】



【子供広場の様子】

（写真提供：久居駐屯地）



【訓練展示の様子】

第10師団音楽まつり（陸上自衛隊）



【演奏の様子】（写真提供：第10師団）

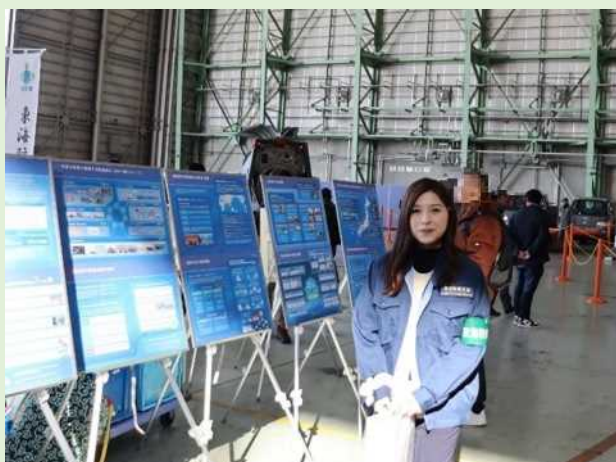
本年3月2日（土）に、陸上自衛隊第10師団による「師団音楽まつり」が名古屋市昭和区の市公会堂で開催されました。陸上自衛隊守山駐屯地の第10音楽隊による演奏を中心に、愛知県警察音楽隊や名古屋音楽大学シンフォニックウインズのゲスト演奏などがあり、多くの観客を魅了しました。第10師団音楽まつりは今回で22回目、約1500人が来場されました。

東海防衛支局の政策広報

東海防衛支局は、本年3月3日に開催された小牧基地オープンベースの機会を捉えて政策広報を行いました。

当支局は、広報展示スペースとして開放された格納庫内にブースを設置し、来場された方々に展示パネルやパンフレットなどを用いて防衛力の抜本的強化の必要性や取組について丁寧に説明しました。

引き続き、自衛隊の行事などの機会を捉えて、広く国民の皆様への理解と協力が得られるよう努めてまいります。



【広報ブースの様子】

防衛力の抜本的強化を支える 東海3県の防衛生産・技術基盤

⑤ 指揮統制・情報関連機能
⑥ 機動展開能力・国民保護、⑦ 持続性・強靱性

これまで我が国の防衛上必要
な7つの機能・能力のうち4つ
を紹介してきました。

まず、遠距離から侵攻戦力を
阻止・排除するための、①スタ
ンド・オフ防衛能力、②統合防
空ミサイル防衛能力、次に、抑
止が破られた場合、これらの能
力に加え、領域を横断して優越
を獲得し、非対称的な優勢を確
保するための、③無人アセット
防衛能力、④領域横断作戦能力
防衛能力、⑤ 指揮統制・情報関連機能、さ
らに、迅速かつ粘り強く活動し
続けて、相手方の侵攻意図を断
念させる、⑥ 機動展開能力・国
民保護、⑦ 持続性・強靱性が必
要です。

最後となる今号では⑤⑦の
「指揮統制・情報関連機能」、
「機動展開能力・国民保護」及
び「持続性・強靱性」について
説明し、その装備品などの契約
状況の一部を紹介します。



【各種能力・機能のイメージ図（一例）】（令和5年版防衛白書より）

⑤ 指揮統制・情報関連機能とは

今後、より一層、戦闘様相
が迅速化・複雑化していく状
況において、戦いを制するた
めには、各級指揮官の適切な
意思決定を相手方よりも迅速
かつ的確に行い、意思決定の
優越を確保する必要があるこ
とから、AI導入などを含め
ネットワークの抗たん性や
ISR T（情報収集・警戒監
視・偵察・ターゲティング）
能力を強化します。

指揮統制・情報関連機能強化 の取組

(1) 指揮統制機能

迅速・確実な指揮統制を行
うため、抗たん性のある通信
システム・ネットワーク及び
データ基盤を構築し、スタン
ド・オフ防衛能力及び統合防
空ミサイル防衛能力を始めと
する各種能力を統合的に運用
するため、リアルタイムに指
揮統制を行う態勢を概成する
とともに、各自衛隊の一元
的な指揮を可能とする指揮統
制能力に関する検討を進め、必
要な措置を講じます。

(2)情報収集・分析等機能
我が国周辺における軍事動向等を常時継続的に情報収集し、その処理、分析、共有等を行う能力及び態勢を抜本的に強化することにより、隙のない情報収集・分析体制を構築するとともに、政策判断や部隊運用に資する情報を迅速に提供することができる態勢を確立します。加えて、米軍との情報共有態勢及び無人アセットに係る統合運用の在り方について検討し、必要な措置を講じます。

指揮統制・情報関連機能を強化する取組の一つとして、川崎重工(株)岐阜工場で電波情報収集機(RC-2)の製造を行っています。また、指揮統制・情報関連機能を維持するため、同工場において早期警戒管制機等(E-767、E-2D)の定期整備を行っています。



【電波情報収集機(RC-2)】



【早期警戒管制機(E-767)】



【早期警戒機(E-2D)】

(防衛省HPより)

⑥機動展開能力・国民保護とは

島嶼部を含む我が国への侵攻に対しては、海上優勢・航空優勢を確保し、我が国に侵攻する部隊の接近・上陸を阻止するため、平素配備している部隊が常時活動するとともに、状況に応じて必要な部隊を迅速に機動展開させる必要があります。

また、自衛隊は島嶼部における侵害排除のみならず、強化された機動展開能力を住民避難に活用し、国民保護の任務を実施します。

機動展開能力・国民保護強化の取組

島嶼部への侵攻阻止に必要な部隊等を南西地域に迅速かつ確実に輸送するため、輸送船舶(中型級船舶(LSV)、小型級船舶(LCU)及び機動舟艇)、輸送機(C-2)、空中給油・輸送機(KC-46A等)、輸送・多用途ヘリコプター(CH-47J、同JA-UH-2)等の各種輸送アセットの取得を推進します。

また、自衛隊の機動展開や国民保護の実効性を高めるために、平素から各種アセット等の運用を適切に行えるよう、政府全体として、特に南西地域における空港・港湾等を整備・強化する施策に取り組みとともに、既存の空港・港湾等を運



【輸送ヘリコプター（CH-47J）】



【輸送ヘリコプター（CH-47JA）】



【輸送機（C-2）】



【輸送機（C-130H）】



【空中給油・輸送機（KC-767）】

（防衛省HPより）

用基盤として使用するために必要な措置を講じます。さらに、自衛隊の機動展開のための民間船舶・航空機の利用の拡大について関係機関等との連携を深めるとともに、当該船舶・航空機に加え自衛隊の各種輸送アセットも利用した国民保護措置を計画的に行えるよう調整・協力します。その際、政府全体として、武力攻撃事態等を念頭に置いた国民保護訓練の強化や様々な種類の避難施設の確保を行います。また、国民保護にも対応できる自衛隊の部隊の強化、予備自衛官の活用等の各種施策を推進します。

機動展開能力を支える輸送アセットの例として、

川崎重工業(株)岐阜工場においては、各種の輸送機等（CH-47J、同JA、C-2、C-130H、KC-767）の製造や定期整備を行っています。

⑦ 持続性・強靱性とは

将来にわたり我が国を守り抜く上で、弾薬、燃料、装備品の可動数といった現在の自衛隊の継戦能力は、必ずしも十分ではありません。そのため、弾薬の生産能力の向上や製造量に見合う火薬庫の確保を進め、必要十分な弾薬・燃料を早急に保有するとともに、装備品の可動率を向上させるための体制を早急に確立します。

持続性・強靱性強化の取組

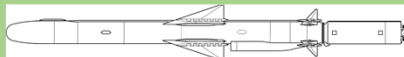
(1) 弾薬の確保
防衛戦略では、2027年度までに、弾薬について、必要数量が不足している状況を解消することとしており、優先度の高いスタンド・オフ・ミサイル（12式地对艦誘導弾能力向上型等）、弾道ミサイル防衛用迎撃ミサイル（SM-3ブロックIIA）、能力向上型迎撃ミサイル（PAC-3 MSE）、長距離対空ミサイル（SM-6）、O3式中距離地对空誘導弾（改善型）能力向上型等の各種弾薬については、必要な数量を早期に整備することとしています。
弾薬確保の一例として、三菱重工業(株)小牧北工

場においては、17式艦対艦誘導弾、哨戒機用新空対艦誘導弾及び空対艦ミサイル（ASM-3A）の製造を、旭精機株式会社においては、5・56mm火器用弾薬の製造を、また、川崎重工業株式会社岐阜工場においては、中距離多目的誘導弾の製造を行っています。

また、12式地对艦誘導弾能力向上型の部隊配備を可能な限り早期に実現するため、地発型については開発と並行して量産に着手することとし、昨年4月に三菱重工業株式会社と契約を締結しました。



【中距離多目的誘導弾】



【17式艦対艦誘導弾】
（イメージ）



【哨戒機用新空対艦誘導弾】
（イメージ）



【空対艦ミサイルASM-3A】



【5.56mm火器用弾薬】



【12式地对艦誘導弾能力向上型の開発】

（防衛省HPより）

(2) 可動状況の向上

自衛隊で使用される装備品は、耐久性よりも性能を重視しており、民生品の使用条件よりも過酷な状況で使用されていることから、一般的な用途に比べ、頻繁な整備や部品交換が発生する特性をもっています。そのため、部品交換を見越して、予備の部品を一定数保有しておく必要があります。

一方、装備品の高度化・高性能化に伴い、部品の調達単価と整備費用が上昇し、維持整備予算も増加させてきていますが、必ずしも十分ではなかったことから、部品不足による非可動が発生しています。一部の装備品では、可動状態にない同じ装備品から部品を取り出し転用する、いわゆる「共食い整備」を実施しており、部品の取り出しと取り付けで、通常の部品交換の2倍の整備作業が必要となるため、現場部隊に過度な負担を強いています。

このような状況を改善するため、令和5年度以降、装備品の維持整備のための予算を大幅に増やし、部品不足などの解消を図っており、東海3県に所在する航空機関連企業においても、これまで以上に部品製造が行われます。

装備品の可動状況の分類

可動

装備品が本来の能力を発揮できる状態

整備中

装備品ごとに一定のサイクルで必要となる定期整備などにより可動できない状態

非可動

部品の在庫や修理費の不足により、本来は可動しているべき装備品の一部が一定期間以上、非可動となっている状態



部品取りされたF-2戦闘機



部品取りされたP-1のエンジン

【装備品の可動状況の分類】（令和5年版防衛白書より）

特定防衛施設周辺整備調整交付金事業

小牧市多気中央公園整備事業／春日市牛乳保冷库等整備事業／
豊山町総合福祉センター南館ひまわり等改修整備事業

防衛省では防衛施設の設置・運用に伴う周辺地域の生活環境や開発への影響などを考慮し、特に配慮が必要な場合、防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律第9条の規定に基づき、特定防衛施設及び特定防衛施設関連市町村の指定を行い、当該市町村が行う公共用施設の整備などに交付金を交付しています。

令和5年度における交付金事業（小牧基地関連）のうち3事業について紹介します。

【愛知県小牧市】 多気中央公園整備事業

小牧市の多気中央公園整備事業は、同市が地元区からの強い要望を受け、都市公園を新たに整備したものです。

小牧市は、本公園の整備に当たり、令和4年度にワークショップを開催し、実際に公園を利用する幅広い年齢層の市民の方々の意見を反映させて構想・設計を進めました。

整備においては、バリアフリー化はもとより、ユニバーサルデザインに基づく整備を行い、インクルーシブ遊具（障害者を含め誰でも利用できる遊具）も設置しました。

また、本公園のシンボルツリーとして、季節感を楽しめるようにどんぐりがなるシラカシの木を植え、ネットクライマー遊具、ステップ遊具、健康遊具（腕立て棒・背のばし）なども設置しています。

【小牧市担当者の声】

多気中央公園は、地元区からの公園整備の強い要望を受け、整備した都市公園です。

本公園は、誘致距離250mとする街区公園ではありますが、地区内には、他に都市公園が整備されていないことから、災害時における一時的な避難場所や子供の安全な遊び場の確保、地域コミュニティの活性化など、多目的な利用ができる公園として整備できて喜ばしく思います。



【インクルーシブ遊具】



【シンボルツリーとバリアフリーで整備された公園】



【健康遊具】



【ネットクライマー遊具】

【愛知県春日井市】
牛乳保冷库等整備事業

春日井市の牛乳保冷库等整備事業は、老朽化した市内の小中学校8校の既設牛乳保冷库などを更新したものです。

牛乳保冷库は、児童及び生徒の成長過程に必要な牛乳の温度管理を適切に行い、給食時に新鮮かつ良好な状態で提供できるように、品質の保持を目的とするものです。

また、児童及び生徒の突発的な発熱・体調不良や打撲などへの応急処置を行う際に必要な氷を確保するため、保健室に自動製氷機も新たに設置しました。

【春日井市担当者への声】

学校の職員からは「暑い時期など、新しい保冷库でしっかり冷えた牛乳に生徒も喜んでくれると思います。」といった声がありました。

また、同時に設置した製氷機についても「安定して氷を供給することができ、生徒のけがや体調不良の対応の際に役立ちます。」との感想がありました。



【自動製氷機】



【牛乳保冷库】

【愛知県豊山町】
総合福祉センター南館
ひまわり等改修整備事業

豊山町の総合福祉センター南館ひまわり等改修整備事業は、福祉コミュニティセンターや児童館を併せ持ち、日頃から市民の利用が多い多目的施設であり、より快適に利用できるよう、改修整備したものです。

この総合福祉センターは、昭和51年度に当省補助により建設し開園した保育園の建物を平成14・15年度に増築・改修したもので、建設から約50年近くが経過していますが、子供から大人まで幅広く利用され町民にとっては重要な施設となっています。

そのため、建物の延命及び予防保全の観点から、令和2年度の屋上防水工事及び内装改修工事、令和4年度の空調設備改修工事に続き、令和5年度に老朽化していた外壁の補修、外部建具の交換を行い、建物の耐久性の向上を図り、利用者が安心して快適に施設を利用できるようにいたしました。

【豊山町担当者の声】

「ひまわり」は建設から長期間が経過し、至るところに不具合や改修などが必要な状況であり、3年度にわたり交付金を使い各種改修などを行ってきました。

内部及び外部にわたりリニューアルし、利用者からは「きれいになり気持ちよく利用できるようになりました。」との喜びの声聞かれるとともに、担当者としても気分一新し充実した地元との交流を図っています。



【利用状況(児童館)】

陸上自衛隊 第10偵察戦闘大隊の新編等

陸上自衛隊は、部隊の編成・装備を見直し、効率化・合理化を徹底した上で、地域の特性に応じた適切な配置を進めるとともに、北海道以外に所在する師団・旅団が装備する火砲を、新編する各方面隊直轄の特科部隊に集約する事業を進めています。

東海防衛支局管内では、令和6年3月に、愛知県豊川市に所在する豊川駐屯地及び春日井市に所在する春日井駐屯地において部隊改編が行われました。

今般の改編では、①豊川駐屯地の第10特科連隊及び春日井駐屯地の第10偵察隊を廃止し、②豊川駐屯地に第10偵察戦闘大隊及び中部方面特科連隊第2大隊などが新編され、これに伴い、豊川駐屯地司令の職が従来の第10特科連隊長から第6施設群長に代りました。

また、これまで、愛知県東部の三河地域18市町村の防衛・警備を担任してきた第10特科連隊の廃止に伴い、同地域における災害派遣を担任する部隊も右下図のとおり変更となりました。引き続き、各市町村や防災関係機関と緊密に連携して関係強化を図り、地域の安全に万全を期すこととしています。

豊川駐屯地司令（第6施設群長）
長田雄一 1等陸佐のコメント

令和6年3月21日（木）に豊川駐屯地司令を拝命いたしました。

歴史ある三河の地において勤務できること、そして歴代駐屯地司令、駐屯地所在部隊が築き上げた伝統ある豊川駐屯地で駐屯地司令として勤務できることは私にとって大きな喜びであり、その重責に身が引き締まる思いです。

三河地方各市町村の防衛・警備・災害対応等に任ずる部隊として「地域と共に、地域からの理解・信頼される駐屯地」を掲げ、地域の皆様、ひいては国民の皆様の期待に答え得るよう努力してまいります。



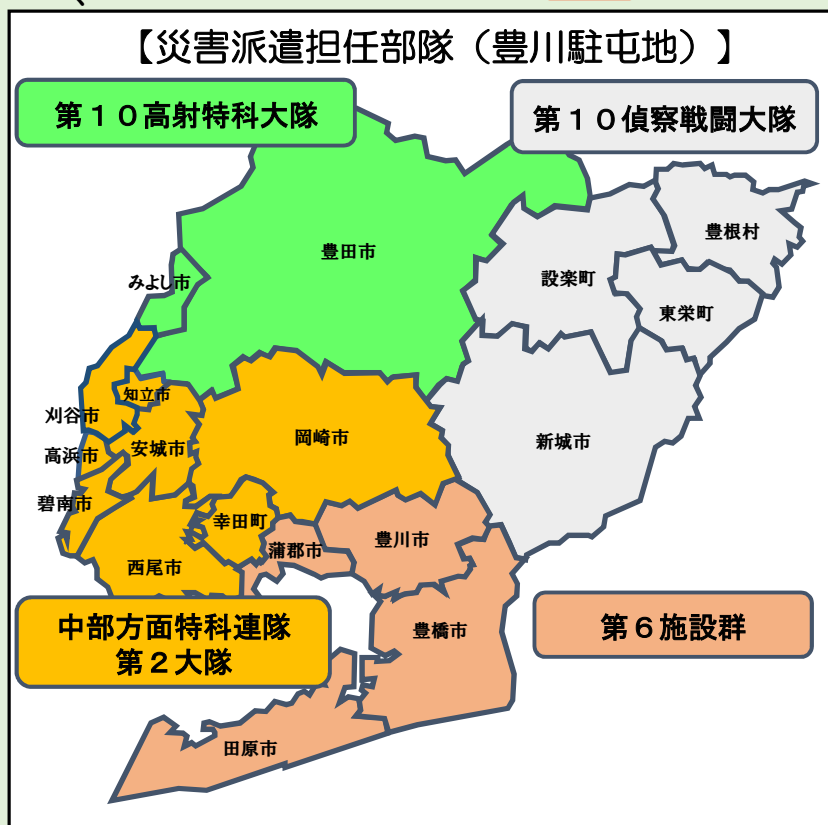
豊川駐屯地司令（第6施設群長）
長田雄一 1等陸佐



第6施設群の主要装備品
【92式地雷原処理車】



第10偵察戦闘大隊の主要装備品
【16式機動戦闘車】





三重県 津市



津市のPRキャラクター
シロモチくん



まえば やすゆき 前葉 泰幸 津市長

【未来の次なる20年に向けた ビジョン】

三重県の中央部に位置する津市は、伊勢湾から奈良県境までの約711kmの広大な市域を有し、気候は温暖で豊かな自然にあふれています。中部・近畿両圏の結節点として交通アクセスにも恵まれ、さらに津市と中部国際空港を約45分で結ぶ高速船のターミナル「津なぎさまち」もあり、海外へのアクセスも良好です。

今年の4月1日で生誕135周年を迎えた津市。玄関口である津駅周辺は、明治24年に初代駅舎が竣工し、その後昭和48年に現在の駅舎が竣工してから半世紀が経過しています。新たな歴史を刻もうとしています。

津駅東口では、国のバスタープロジェクトの早期実現に向け国や県との連携を密にし、賑わいづくりの検証を重ねながら、戦略的に取り組みを進めています。津駅西口では、地域や交通事業者などの議論を進めながら、駅前広場の新しい姿や、新たに整備する東口と西口を結ぶ東西自由通路の事業イメージを示すために、官民連携による基盤整備に向けた調査を始めました。



【津駅東口】

また中心市街地の大門・丸之内地区では、官民の関係者で組織するエリアプリアットフォーム「大門・丸之内未来のまちづくり」が令和5年に創設され、関係者の連携により新たな賑わいの創出などにつながる取り組みが進められてお

・再編による「エリア価値の高いまち」の実現に向けた中長期的な視点での取り組みを進めています。
来年は、合併後20年目となる節目の年となります。これまで築いてきた成果を土台に、少子化や人口減少をはじめとした課題に向き合い、デジタル化の進展や社会変化に柔軟に対応しながら、市民の皆さまと共に未来の次なる20年に向けたビジョンを描いてまいります。



【道路空間活用実験「ふらっと大門・丸之内」】

自衛隊との関わり

津市には、陸上自衛隊久居駐屯地、航空自衛隊笠取山分屯基地、航空自衛隊白山分屯基地と三重地方協力本部があり、平素から情報共有を図るとともに、災害時における連携体制の確保に向けて取り組んでいます。

令和5年11月に実施した南海トラフ地震の発生を想定した総合防災訓練では、陸上自衛隊第33普通科連隊、航空自衛隊第1警戒隊、航空自衛隊第14高射隊にご参加いただき、倒壊家屋からの救助・搬送など実践的な訓練を行いました。

また、本年4月には、令和6年能登半島地震の教訓を基に津市の受援体制を強化するため、現地で活動された陸上自衛隊第33普通科連隊長の金子洋幸氏を講師にお招きし、災害対応研修会を開催しました。今後も受援体制の強化に向けた検討会・図上訓練・総合防災訓練を通じて実践力を培い、地域の皆さまの安全・安心に資する連携を深めてまいります。



【令和5年度津市総合防災訓練】

令和6年度能登半島地震に係る災害派遣活動



【給水支援】



【入浴支援】



【給食支援】

(統合幕僚監部HPより)

令和6年1月1日(月)に発生した能登半島地震において、防衛省・自衛隊は、同日以降、災害派遣活動を継続して実施しています。統合幕僚監部のホームページ(右記QRコード)から災害派遣活動状況が御覧いただけます。



採用関連のご案内

東海防衛支局では、国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験・高卒者試験・社会人試験(係員級))合格者から防衛省職員を採用しています。

令和7年度新規採用に関する各種採用イベントを実施する予定です。参加には事前申込みが必要ですので、詳しくは東海防衛支局または防衛省のホームページをご確認ください。

大卒程度採用イベント予定

6月上旬～中旬 : 業務説明会、現場説明会

7月上旬～8月上旬 : 官庁訪問

8月中旬(国家公務員試験最終合格発表後) : 採用面接

東海防衛支局ホームページ「採用情報」

<https://www.mod.go.jp/rdb/toukai/recruit/>

お問い合わせ先: 東海防衛支局 総務課 052-952-8221



【昨年度の説明会の様子】

新着任者紹介

(令和6年4月1日付)

首席検査官
大橋 哲也



首席検査官に着任しました大橋です。
初めての支局勤務になりますが、これまでの勤務経験を活かし、防衛装備品の円滑な調達に少しでも貢献できるように努力いたします。

会計課長
富山 博充



会計課長に着任しました富山です。
管内の防衛施設の安定的な運用と、関係自治体や地元の皆様の信頼を得られ、更に関係が発展できるよう全力で取り組んでまいります。

周辺環境整備課長
金城 秀利



周辺環境整備課長に着任しました金城です。
防衛施設周辺の地域の皆様との信頼関係を大切に、さらに発展するよう努めてまいります。
どうぞよろしくお願いいたします。

防音対策課長
小林 重光



防音対策課長に着任しました小林です。
初の東海防衛支局勤務となりますが、防衛施設周辺の住宅防音事業を始め防音事業の推進に努めてまいります。

報道官
宮田 尚登



報道官に着任しました宮田です。
東海防衛支局、防衛省・自衛隊の活動について、広報誌などを通じてPRしていき、引き続き皆様のご理解を得たいよう努めてまいります。

岐阜防衛事務所次長
福山 修平



岐阜防衛事務所次長に着任しました福山です。
装備品等の調達業務に携わってきた経験を活かしながら、装備品等に係る監督・検査等の業務に所員とともに取り組んでまいりますので、宜しくお願い致します。

【発行】東海防衛支局広報誌編集委員会

〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸2-2-1 名古屋合同庁舎第1号館 (電話) 052-952-8212

2024年(令和6年)夏号 (通巻第59号)

